

Case-1 ホテルモントレ大阪

ホテルモントレは1986年の開業以来各地に個性豊かなホテルを展開。ホテルモントレ大阪は2000年5月1日に大阪府大阪市北区にて開業。ホテルモントレグループとしてSDGsを支援、取り組むべき課題の中から特に4つの目標「安全・安心への取り組み」「未来の地球への取り組み」「誰もが活躍できる環境づくりへの取り組み」「地域社会への取り組み」に取り組んでいる。



【会社概要】

※2023年3月31日時点

会社名 | ホテルモントレ株式会社
本社所在地 | 〒556-0017 大阪府大阪市浪速区湊町1丁目2番3号
事業内容 | 宿泊施設・リゾート施設の運営

運営施設数 | 29施設(グループ会社含む)
従業員数 | 1,158名(2024年1月1日現在)
客室数 | ホテルモントレ大阪 194室
(ホテルモントレグラスミア大阪 348室、
ホテルモントレラ・スール大阪 240室)

CO₂ 排出量可視化ツール導入概要

測る



『可視化ツールの導入を考え始めたきっかけ・知った場面』

- ・サービス提供事業者(東武トップツアーズ株式会社)より可視化ツールの提案を受けたことがきっかけ。

『可視化ツールの導入の決め手』

- ・ホテルにおいて排出量の可視化の重要性を感じていたこと、また、将来世代へ地球環境をつなげていきたいという思いが要因です。
- ・事業者の説明において、排出量の可視化により脱炭素の促進は「EXPO 2025 大阪・関西万博」につながるとともに、その後の修学旅行・教育旅行を通じた環境貢献に繋がると伺いました。
- ・排出量を可視化して発信していくことで、ホテル事業者として地球環境について考え、将来へつなげていくとともに、若者や次の世代の学びや未来に繋がっていくことに貢献できると思い、導入に至りました。
- ・館の責任者が主体となり、全社判断の上導入実施。

『導入した可視化ツール』

- ・DeTS (Decarbonising Tourism System) <https://www.dts2050.com/> (提供事業者: 東武トップツアーズ株式会社、株式会社バックキャストテクノロジー総合研究所)

『導入時期・範囲』

- ・2021年に導入
- ・宴会場を有する3つの館(ホテルモントレ大阪、ホテルモントレラ・スール大阪、ホテルモントレグラスミア大阪)で導入。その他福岡や沖縄といった他地域でも導入も検討している。

『ツール導入・活用において苦労した点・悩んだ点、対応策』

- ・さらなる活用にむけて、他の事業者も含めた宿泊施設のCO₂排出量が可視化され、モントレ大阪(モントレグループ)の排出量他社や業界平均などと比較して多いのか、少ないのかを把握し比較できるとよい。
- ・グループとして進める様々な取り組み(例: エコ清掃など)がどのようにCO₂排出量削減などにつながっているのかを把握するのは一定の難しさがあり、今後推移を見ていきたい。
- ・導入においては、本社一括で導入をすすめることで可視化に必要な業務を効率的に行うことができると考える。
- ・効果的に使用していくために、可視化ツールの勉強会などがあれば参加したい。
- ・ツールの可視化やその他の脱炭素・SDGsの取り組みについて、「SDGsに取り組んでいるから選んだ」というお客様が今後増えると想定するが、現状どの程度いるかをカウントすることは容易でなく、誘客につながっているかは実感しづらい面もある。

効果



『導入効果』

- ・可視化ツールの導入により、経年変化（全体の削減量等）などを捉えることができている。

ツール活用に関する今後の取り組み

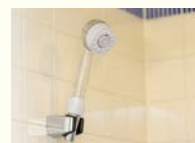
- ✓ CO₂ 排出量を可視化し、他社の比較や脱炭素の取組の情報収集を通じて、排出量が多い項目の数値を改善するための施策を検討し実行して行きたい。
- ✓ 対外的な発信においても、可視化ツールの利活用を検討していく。

その他の脱炭素関連の取り組み

- ・モントレグループとして、エコ清掃やプラスチック削減などの取組を大阪に限らずグループ全体で行っている。
- ・プラスチックを使用したアメニティは置いていない（例：歯ブラシをハスクにした）
- ・連泊のお客様はリネンやタオルの交換を行わないエコ清掃の案内を客室に設置。基本的なエコ清掃とし、清掃の要望があれば対応する。
- ・各部屋に節水効果の高いシャワーを設置している。
- ・フードロスの対策として、料理長が各レストランの廃棄量の記録等を行い、廃棄量削減に貢献している。またレストランと宴会で共通の食材を使用するなどのフードロス対策も実施している。
- ・朝食会場では、抗菌加工を施したエコ箸を使用し、割り箸ではなく洗って繰り返し使えるタイプを採用している。
- ・株式会社 JTB コミュニケーションデザインが推進する「CO₂ ゼロ MICE[®]」（イベントや会議で使用する電気を再生可能エネルギーに置き換えることで、サステナブルなイベントの実現を可能にするサービス）に参画している。
- ・一部の特殊な形状のシェードに設置されているものを除いて、ほぼすべてのライトを LED 電球としている。



プラスチック製品の廃止・削減の実施（シャンプー・リンス・ボディソープのポンプ式詰め替え利用等）



節水効果の高いシャワー設置



LED 照明・LED パネルの導入

『脱炭素化関連情報の収集方法』

- ・モントレグループの中で情報共有する体制ができている。全国の各部門ごとの会議を2か月に1回程度実施し、各施設の取り組み内容等を共有。
- ・上記と併せて、同業他社との情報交換やインターネット等も活用。